

歴史能力検定の実施に関する新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

歴史能力検定協会事務局

【感染予防対策】

- ・受験者および運営スタッフへのマスク着用義務付け。
- ・検定会場への消毒液設置および受験者の手指消毒励行。
- ・運営スタッフ出勤前の検温実施—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の自宅待機指示。
- ・受験者への検定当日朝の各自検温要請—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の来場自粛要請。
- ・最低人数での来場（保護者は1名まで）
- ・保護者控室の設置なし

【受験者の方へのお願い】

- ・来場者同士の会話の自粛
- ・入・退室時の手指消毒やこまめな手洗い
- ・会場内でのマスク着用及び、1級・2級受験者への本人確認時の一時的マスク脱着
- ・試験当日に37.5℃以上または平熱を1℃以上超える発熱、咳・のどの痛みなどの風邪の症状、だるさ（倦怠感）、息苦しさ、嗅覚や味覚の異常、身体が重く感じる、疲れやすい等のいずれかの症状がある場合の来場自粛

【スタッフの取り組み】

- ・試験会場におけるこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- ・試験当日に37.5℃以上または平熱を1℃以上超える発熱、咳・のどの痛みなどの風邪の症状、だるさ（倦怠感）、息苦しさ、嗅覚や味覚の異常、身体が重く感じる、疲れやすい等のいずれかの症状がある場合自宅待機

なお、本ガイドラインは現段階で得られている知見に基づき作成しており、今後の知見の集積及び地域の感染状況等を踏まえて逐次見直すことがありますので、ご留意ください。